

## 広島県における今後の高等学校教育の在り方を検討する協議会 「中間まとめ（概要）」（案）

### はじめに

広島県における今後の高等学校教育の在り方について、「本県を支える人材の育成と今後の高等学校教育の在り方」、「本県における今後の高等学校の在り方」の2つの事項について明らかにするよう諮問を受けた。

これまでの6回の会議において、協議を行った内容をここにとりまとめ、中間まとめとして報告する。

## I 本県を支える人材の育成と今後の高等学校教育の在り方について

### 1 検討に当たって

#### (1) 広島県の特徴など

広島県は、豊かな自然、西日本有数の産業集積地、国際都市としての潜在的な魅力を有している一方で、中山間地域等における過疎化等の課題を抱えている。

こうした状況下において、様々な課題に対応し、社会の持続的な発展に寄与する人材の育成が急務となっている。

#### (2) 若者、高校生の現状

現在の若者、高校生について、素直である、社会に貢献したい気持ちが強い、あるいは情報収集能力が高いなど多くの点で評価できる。

しかし、議論や競争が苦手、他者と協同して課題を解決するのが苦手、あるいは実現したい夢を持っていないなどの課題がある。

### 2 本県を支える人材の育成と今後の高等学校教育の在り方について

#### (1) 本県を内外から支える人材

本県を内外から支える人材を、本県を内側から支える人材と外側から支える人材の大きく二つの視点から整理した。

#### (2) 生徒が高等学校で身に付けるべき力

高等学校においては、社会的に自立する上で求められる普遍的な力を卒業までに身に付けさせることが必要であるとともに、生徒個々が夢を実現し、グローバル化した社会で活躍できる力を付けることも重要である。

#### (3) 高等学校教育が目指す姿

高等学校教育においては、生徒が将来社会で自立して生活を送ることができるために必要な心身の強さや人間性を養うという観点と生徒の進路希望の実現を図るという観点が重要である。

いずれの観点においても、生徒に夢と学ぶ意欲を持たせ、学びを実践させることにより、成功体験を積み上げるとともに学ぶ意義に気づかせ、さらに学ぶ意欲を強めるという好循環を作り上げることが必要である。

## II 本県における今後の高等学校の在り方について

### 1 今後、求められる高等学校

#### (1) 基礎・基本の力（コア）を育成する学校

グローバル化の進展など、激しく変化していく社会で活躍できる人材を育成するためには、全ての高等学校において、基礎的な学力、思考力、判断力、行動力及び自分以外の他者を受容し共生できる力はもとより、各々の職業で必要とされる基礎的な専門知識や技能などを身に付けさせる必要がある。

また、生徒に学ぶ目的や意義を自覚させるとともに、将来への目的意識を持たせ、将来の夢の実

現に向け、粘り強く取組む姿勢を育成することが重要である。

## (2) 生徒の多様なニーズに対応する学校

文化・スポーツや理数系などの能力を伸ばす、海外へ出て活躍する、あるいはこれから夢や目標を見つけるなど、生徒の多様なニーズに適切に対応するためには、各高等学校が特色ある教育を更に推進することが求められる。

このためには、各高等学校が生徒のどのような力を伸ばすのか、どのような生徒を育成するのかについて明確な目標を持ち、それを実現するための有効な取組を実践することが重要である。

## (3) 特色ある教育を推進するために留意すること

特色ある教育の推進においては、地域による異なる状況を踏まえるとともに、生徒の個々の状況に柔軟に対応できる体制の整備、家庭や地域との連携などを行う必要がある。また、教員以外の人材活用や学校間の連携など学校の従来の枠組みを越えた仕組みづくりを研究する必要がある。

## 2 求められる高等学校の方向性

### (1) 基礎基本の重視

全ての高等学校で、大学などへ進学したり、社会に出て、より高い専門性を身に付けたりするための基礎として、知徳体を総合的にバランスよく高める教育を行う必要がある。

### (2) 特色のある高等学校

本県において、今後検討すべきと思われる「特色のある高等学校」は次のとおりである。

#### ア 中高一貫教育校

広島中・高等学校における成果を踏まえ、中山間地域も含め、県内の他の地域から併設型中高一貫教育校の設置を求める声がある。

また、中山間地域において連携型中高一貫教育を実施している学校が一定の成果を上げており、他の地域において、設置を求める動きがある。

中高一貫教育校の新たな設置については、県内各地域の実情などを踏まえ、これまでの取組や成果を生かしながら、検討する必要がある。

#### イ 定時制・通信制

様々な事情や背景を持ちながら定時制・通信制課程に在籍している生徒の持っている可能性を引き出し、能力を伸ばすことが求められている。

定時制課程の多くが、全日制課程に1学級が併置されているという状況を改善し、定時制課程と通信制課程を併せ持った高等学校の設置を検討する必要がある。

#### ウ 専門高校・専門学科

専門高校・専門学科は、これまで幅広い分野で産業、社会を支える人材を輩出しており、今後もその役割を果たすことが期待される。このため、専門高校・専門学科においては、

- ・専門分野の基礎的・基本的な知識、技術、技能の定着を図る教育を行うこと
- ・それぞれの専門分野だけでなく、他の学科などとの関連にも配慮し、幅広い知識、技術を身に付けさせる教育を行うこと
- ・ものづくりへの興味と意欲、技能や製品に対する厳しさと自信、飽くなき向上心を身に付けさせる教育を行うこと
- ・職業人としての規範意識や倫理観などを醸成し、豊かな人間性の涵養にも配慮した教育を行うこと
- ・産業構造の変化、科学技術の進歩などの情勢の変化に対応した教育を行うことが重要である。

また、農業科、工業科など農産物や製品などの「ものづくり」を学ぶ学科においては、ものを生産製造する技術、技能を身に付けさせる教育に加え、売れる商品を開発する能力を育成するため、マーケティングに関する基礎的な知識と技術を身に付けさせることも重要である。

#### エ その他

本県の抱える課題等に対応した様々な人材を育成する観点から、高等学校が果たすべき役割等について、今後も検討し、その際、海外の大学への進学を目指す学校や職場体験を重視した学校の設置など、従来の高等学校や学科の枠に捉われない人材育成の在り方についても、検討していく必要がある。

**(3) コアを重視しつつ、コース制等により特定の機能を強化する高等学校**

普通科においては、基礎的な教養をしっかり学びつつ、コースや類型を設けて、芸術など特定の分野を特化して学ぶことができる高等学校あるいは、普通科と他の学科が併設され、学科間で連携することにより、多様な学びを提供できる高等学校などについても検討するべきである。

**(4) 生徒が夢や意欲を持つための取組**

生徒が夢を持ち、その実現に向かって意欲的に学ぶ態度を育むための取組を、各学校が工夫して実施することが重要である。各学校において、それぞれが育成する生徒像の目標に応じて、こうした取組が積極的に企画され、生徒一人一人が将来の夢を育み、学ぶ意欲を高める環境の充実に努める必要がある。

**(5) 特色づくりを進める上での留意事項**

県内の高等学校教育において、特色ある教育づくりを進める上で、必要となる人的・物的資源の有効活用に資するための仕組みづくり等を研究する必要がある。

**3 国・公・私立高等学校の役割**

国立高校、私立高校、公立高校が協力又は補完しあいながら、広島県全体の高等学校の教育を推進し、教育水準の維持・向上を図らなければならない。

また、併せて、本県の高等学校教育の在り方を考えるとき、国・公・私立高校は、補い合うとともに、同じ公教育を担うという立場から、互いに切磋琢磨し、広島県全体の教育水準の維持・向上に努めることが求められている。

なお、特色のある学校・学科の中には、生徒のニーズが低いために定員に満たない恐れのある学校・学科があるものの、本県の将来を見据えたときに、社会的なニーズが高いと考えられる学校・学科については、国立又は公立の高等学校において設置することを検討する必要がある。